

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員と一緒に作り上げた理念ではあったものの、職員全体への意識付けが薄い。理念を共有し、実践できているかの振り返りができていない。	職員一人ひとりが、理念に沿ったケアができるような意識付けをする。	毎月の職員会議で、振り返りを行い、理念に沿ったケアとは具体的にどのような事なのか、どうしたら理念を実現できるのか、職員全体で考える機会を多く設けていく。	6ヶ月
2	35	ライフライン停止時のマニュアルは作成したものの、実際、冬期間の長時間の停電を想定すると、暖をとる設備が不十分である。	冬期間、長時間の停電が起きた際、地域・ご家族・法人からの協力体制をより明確化していく。	地域に対しては、運営推進会議を通じて、実情を報告し、協力を依頼すると共に、事業所が地域の方に対して、どのような協力を行ったらいいかを相談する。家族会総会や、法人内の会議を通じて、協力を得ながら、今あるマニュアルを、より実現可能でかつ、災害時、利用者の安全を守るものへと改善していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。